田尻田んぼの生きもの調査
ー活動報告ー
「東都生活協同組合」

2011年3月13日
東都生活協同組合　理事　東　真貴

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

東都生協の「沿革と理念」

＜東都生協の基本理念＞

「産直」「協同」「民主」

ーいのちとくらしを守るためにー

すぐれた商品を求める消費者・組合員と、農業生産者・漁業生産者・メーカーとが直接手をつなぎ、生産・流通・消費のあり方を問い直す「産直」（産地直結）を基軸に据えた事業と運動をすすめています。

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

3

1．東都生協の紹介（組織概要）

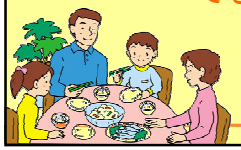
① 設立1973年6月10日
② 出資金約70億円
③ 組合員数　約23万人
④ 施設17センター、2店舗
⑤ 事業高約370億円

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

2．東都生協が進める
食の未来づくり運動

(1)3つの目標と3つの行動提起

(2)食べ物から生産現場を想像
できる消費者づくり



おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

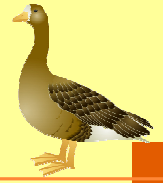
(1)3つの目標と3つの行動提起

- 3つの目標
  - ①食料の安定的確保並びに安心できる確保手段の確立
  - ②環境に優しい持続可能な農業の確立
  - ③持続可能な消費者本位の社会へむけて
- 3つの行動提起
  - ①ライフスタイル提案
  - ②生産へのかかわり
  - ③社会へのかかわり

おいしいを、日本の畑から。 産直の東都生協

5

3. 生きもの調査プロジェクトへのかかわり



おいしいを、日本の畑から。 産直の東都生協

(2)食べ物から生産現場を想像できる消費者づくり

②食べ物から生産現場を想像できる消費者づくり

- ➢食への関心を高め、食の安心を取り戻す一つの解決策が、食と農を近づけることです。農業生産や農業経営について生産者とのコミュニケーションにより理解を深めること、生産者との真の信頼関係を深めることが必要と考えます。そのため、「交流・訪問2万人運動」を掲げ、その内容の充実と推進を行っていきます。

おいしいを、日本の畑から。 産直の東都生協

6

田尻田んぼの生きもの調査プロジェクト

- 環境への配慮度を生きもの調査によって実証し、消費者・生産者にわかりやすい形で伝えることを目的
- 参加団体

  全農、東都生協、みやぎ生協、全農パールライス東日本、パールライスみやぎ、田尻産直委員会、田尻産直米部会、稲作生産部会田尻支部、田尻営農センター、大崎市、NPO法人「田んぼ」、NPO法人「蕪栗ぬまっこくらぶ」

  平成21年4月23日に設立。

  （宮城大学からの指導を頂いています）

なぜ、田尻なのか？

- 2005年ラムサール条約の登録湿地　「蕪栗沼と周辺水田」
- 環境保全型農業の推進
- 生協との産直の歴史
- 人

消費者にとっての田んぼの生きもの調査

- 環境保全型農業の実感
- 食の安全・安心
- 田んぼは、都市と農村の架け橋

生産者にとっての田んぼの生きもの調査

- 環境保全型農業の顕在化
- 田んぼの状況把握
- 気づき⇒探求⇒農法への応用

(2)JAみどりとの生きもの調査活動

- 2005年　田んぼの生きもの観察フォーラム
  - ７月２日（土）～３日（日）
- 2006年　JAみどりの交流訪問企画
  - ７月８日（土）～９日（日）
- 2007年　JAみどりの交流訪問企画
  - ６月３０日（土）～７月１日（日）
- 2007年　田んぼの生きもの調査隊
  - 【第１回】９月１６日（日）
  - 【第２回】１２月８日（土）～９日（日）
- 2008年　田んぼの生きもの調査
  - 【第１回】６月２５日（水）
  - 【第２回】７月１２日（土）～１３日（日）
  - 【第３回】９月２日（火）
  - 【第４回】１２月１３日（土）～１４日（日）
- 2009年　田んぼの生きもの調査
  - 【第１回】７月４日（土）～５日（日）
  - 【第２回】１月３０日（土）～３１日（日）

その2
田んぼの生きもの宣言

2009年12月15日

たじり田んぼの生きもの宣言①

私たちの未来に見えている風景は、四季折々に美しく姿を変える田んぼの中に、たくさんの鳥や虫、草花に囲まれて、食べる人を思いながら働く農家の姿です。そして、食卓で楽しく語らい、そこで育った生きものやお米をつくった人に思いを馳せることのできる消費者の姿です。私たちは，田んぼの生きものを一緒に調べ、話し合うことで、その未来が確実に訪れることを確認してきました。

私たちは未来の子どもたちにこのままの地球、このままの風景を残し、生物多様性を育み、持続可能な生産を支える水田農業を伝えていくために以下の宣言を行います。

たじり田んぼ生きもの宣言②

- 安全・安心な田んぼを目指します
- 健全な土づくりを行います
- 環境に配慮した栽培技術の向上に努めます
- 地域の多様な生きものを育みます
- 複合生態系としての「里地・里山」の多様性を維持します
- 田んぼと周辺の環境配慮に努めます
- 地球温暖化防止に貢献します
- 地域の文化を守ります
- 人と人のつながりを大切にします
- 産直活動を広げます

その3
2010年度の調査活動

生きもの調査プロジェクト活動内容 (H22)

- 田んぼの生きもの調査　圃場整備済　節減栽培　3箇所
  1回目　H22.06.09(水)　2回目　H22.06.30(水)
  調査内容:田んぼ・水路の生きもの
  畦畔の植物　水質　土壌
- 赤とんぼ羽化殻調査
  H22.06.19(土)　調査説明会
  H22.06.24(日)～07.28(金)　調査依頼58件
  H22.09.09(火)　赤とんぼランダム調査
  H22.12.01(水)　羽化がら同定調査
- カメムシ等すくいとり調査
  H22.08.10(日)　地域内10箇所
- 生産者生きもの調査　カエル・赤とんぼランダム調査
  H22.08.06(金)～08.12(木)

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

25

2010年度田んぼの生きもの調査(2010年6月30日)

生きもの調査プロジェクト

圃場整備済　節減栽培　3箇所
1回目　H22.06.09(水)
2回目　H22.06.30(水)

- カエル調査・・畦からカウント
- 鳥の調査・・・鳴き声、肉眼
- 水田内のラインセンサス調査
- 草花調査・・水田周辺
- 水路調査・・水路の生きもの
- 土壌調査・・PH(水)PH(塩化カリ)硝酸態窒素ほか
- 水質調査・・水口、中央、水尻

調査方法・指導・調査まとめ
NPO法人　田んぼ

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

26

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

28

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協
29

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協
31

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協
30

その4
組合員活動としてのかかわり

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協

2010年　JAみどりの交流訪問企画①

- 田んぼの生きもの調査＆ホームステイ
- 7月3日（土）～4日（日）

組合員　5家族8名（大人5人、子ども3人）

1日目
野菜の収穫体験、牛の世話
蕪栗沼見学
夕食交流会

2日目
田んぼの生きもの調査体験
調査報告など

おいしいを、日本の畑から。 産直の東都生協

33

2010年　JAみどりの交流訪問企画②

- マガン観賞・交流ツアー
- 12月11日（土）～12日（日）

組合員　3家族6名（大人5人、子ども1人）

1日目
講和「渡り鳥と農業」
渡り鳥見学、マガンのねぐら入り観賞
夕食交流会

2日目
マガンの飛び立ち観賞
野菜の収穫体験
正月飾り作り体験、餅つき体験

おいしいを、日本の畑から。 産直の東都生協

34

東都生活協同組合
食べるお米で
田んぼが変わる
—たじり田んぼの生きもの宣言—
田んぼの
生きもの宣言！
田尻地域田んぼの生きもの調査プロジェクト
たじり田んぼの生きもの宣言
産直の東都生協
39

産地の取り組みを応援しましょう
田んぼの生きもの調査が形になった
私たちがつくる！ 田んぼの風景
「たじり田んぼの生きもの宣言マーク」がつくお米
産直の東都生協
40

おわり
ご清聴ありがとうございます。
おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協